

## 2023年度日本学生支援機構大学院奨学金（貸与奨学金）

### 出願に伴う提出書類とスカラネット(インターネット)入力の諸注意

筑波大学学生生活課経済支援

#### 1. 支援対象

2023年度に在籍する大学院に在学する者で、経済的理由により修学に困難があると認められる人。ただし、奨学金案内 P.8 **4**の①～④に該当する人は、記載内容をよくご確認ください。

#### 2. 提出書類

以下の提出書類を対応のエリア支援室学生支援あて、簡易書留で郵送してください。

※郵送先一覧を確認

封筒に「奨学金書類在中」と記入してください。

申請内容については、別途スカラネットへの入力も必要です。

申請書類提出後にスカラネットの入力に必要な ID・パスワードを配付しますので「4. スカラネット入力期限」までに入力を行ってください。

##### 1. 申込者票

##### 2. 確認書兼個人情報取扱いに関する同意書

必ず自書すること。

記載内容を訂正する際には、二重線で訂正のうえ、余白に正しく記入してください。

##### 3. 収入計算書

記載したすべての項目について、収入証明を提出してください。

また、収入計算書に記載した金額が証明書と一致するように注意してください。

##### 4. 本人の収入に関する証明書等（マイナンバーの記載は不要）

貸与奨学金案内 P26～29

別紙「本人の収入等に関する証明書類について」を参照。

##### 5. 学業成績証明書原本（コピー不可） ➡ 申込者票の裏面に必要事項を全員記入

※新入生のみ成績証明書を提出

【修士・博士前期・一貫制博士及び専門職学位課程の1年次生】

出身大学等の成績証明書

（ただし、博士医学4年制課程に入学した者で、修士課程または博士前期課程を修了している場合は、その成績証明書を提出すること）

【博士後期・3年制博士課程の1年次生及び一貫制博士課程の3年次編入生】

修士課程または博士前期課程の成績証明書

##### 6. 本人名義の普通預金（通常貯金）口座に関する書類（通帳のコピー）

利用できない口座として、農協、信託銀行、外資系銀行、インターネット専業銀行（楽天銀行、ジャパンネット銀行等）及びその他一部の銀行（新生銀行、あおぞら銀行、セブン銀行、イオン銀行等）があります。

##### 7. 「スカラネット入力下書き用紙」のコピー（必要事項を記入したもの）

※ 提出された書類は返却しません。

※ スカラネットを入力する時は必ず学籍番号を入力してください。

## 8. 返信用封筒（郵送での提出の場合のみ）

長 3 サイズの封筒に自分の住所・氏名を記入し、84 円切手を貼付したものを。  
スカラネットの入力に必要な ID・パスワードの書かれた紙をお送りします。

### ※提出書類と一緒に取得しておく書類（貸与奨学金の保証制度について）

保証制度を機関保証とした場合

：本人以外の連絡先の届出事項の記載があるメモ等

⇒ 機関保証については貸与奨学金案内 P17～18 を参照

保証制度を人的保証とした場合

：市区町村で発行された連帯保証人の「印鑑登録証明書」

：連帯保証人の「収入に関する証明書類」

：市区町村で発行された保証人の「印鑑登録証明書」

：例外に該当する人を選任した場合、その方の「資産に関する証明書類」

⇒ 人的保証については貸与奨学金案内 P19～21 を参照

3. 提出期限 ： 2023年9月1日（金）～9月22日（金）

4. スカラネット入力期限 ： 2023年9月30日（土）24時〔厳守〕

### ※スカラネット（インターネット）による入力および入力上の注意

対応エリアの支援室に上記の書類を提出して、スカラネットのアドレス、ユーザID、パスワード（識別番号）を受領し、あらかじめ入力用紙に記入した内容を確認し入力してください。

スカラネットは、8：00～25：00 まで利用可能となっています。ただし、入力期限最終日においては、24時までには必ず入力を行ってください。

申込入力中に一つの画面で 30 分を過ぎると自動的にタイムアウトします。最初からやり直しとなりますので注意してください。

名前・住所等の漢字の変換間違いに注意してください。旧字体は変換できない場合があります。その際は新字体で入力してください。

必ず「チェック票」の内容を確認し、スカラネットの入力をしてください。

## 5. その他

(1) 確認書は折らないでください。

(2) 提出された書類は返却しません。また、不採用者の提出書類は大学において処分します。

(3) 令和 5 年度以降、大学院博士課程において第一種奨学生として採用された人で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受ける人は、本機構の「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。

《注意》 提出書類及びスカラネット入力事項に不備があった場合、または、入力期限後に入力した場合は、出願の受理及び推薦はいたしません。